

# 中間報告書

令和5年9月15日現在

1 事業名 学校と社会をつなぐ協力のプラットフォーム

2 実施期間 令和5年4月24日～令和6年3月31日

3 事業内容

① 事業の目的・概要

## 目的

- ・高校生が大人や社会とつながりながら、自己成長する
- ・高校生が自分の興味関心について探究・挑戦できる地域をつくる

## 概要

### ■ 放課後を活用したキャリア探究

設定テーマに精通する大人を招聘し、その分野について深める。

対象：高校生

実施校：①矢掛高等学校②鴨方高等学校③倉敷鷺羽高校

会場：学校の空き教室など

所要時間：1～1.5時間/回

頻度：月2回程度 ※月1回は場の設定のみ



### ■ 地域活動・企業活動への参加

地域の大人たちの仕事や社会活動などに参加する。

対象：高校生

会場：企業・団体の事業所

所要時間：1日～数日（企業・団体による）

時期：①放課後②土日③長期休暇

■ WEBメディア「生き方百科」

様々な大人の生き方（＝その大人が持つ「問い」と、それにどう対峙してきたかの経験）を取材し、WEBに記事としてアーカイブ。中高生や大学生の進路探究や、学校教員の人材検索ツールとして活用する。

対象：中高生・学校教員

会場：オンライン

② 事業の流れ・進捗状況等

<実施したこと>

■ 放課後を活用したキャリア探究

① 矢掛高校

日時	参加者数	内容
6月7日	20人	フリー設計。スタッフと話をする生徒もいれば、勉強を教え合う生徒もいた。
6月21日	20人	フリー設計。集まった生徒に7/12の回の告知を行う。
7月12日	7人	一般社団法人コノヒトカンの三好さんからコノヒトカンプロジェクトについて話を聞く。
9月14日	30人	フリー設計。話をしながら高校生の関心を探る。この日提出期限のレポートを書く生徒もちらほら。関西福祉大学の大学案内を設置。

② 鴨方高校

日時	参加者数	内容
6月6日	30人	フリー設計。スタッフと楽しく漢字の勉強を女子生徒集団や、進路の相談をする生徒など。
6月22日	20人	フリー設計。コミュニケーション能力がまだ低い生徒が多く、ボードゲームなどを介して大人と会話できるよう練習。
7月18日	15人	フリー設計。就職の志望理由書の作成フォローアップ、起業家やレモン農家の大人と交流など。
9月6日	29人	フリー設計。生徒同士で数学を教えていたり、たまたま同じテーブルになった初対面の生徒同士でコミュニケーションする場面も。
9月12日	12人	フリー設計。就職面接の練習や進路の相談など。

③ 倉敷鷺羽高校

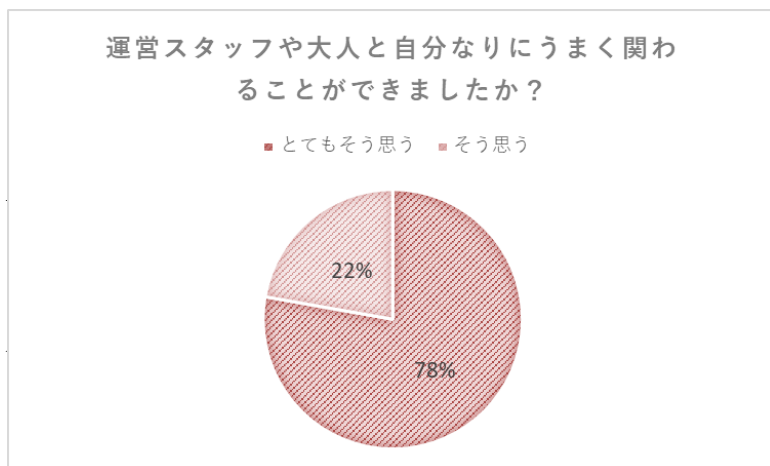
日時	参加者数	内容
6月9日	7人	フリー設計。スタッフと雑談などしながら参加生徒の興味関心をヒアリング・把握する。

6月23日	12人	フリー設計。スタッフと雑談などしながら参加生徒の興味関心をヒアリング・把握する。吸い上げた希望から次回の企画を決定。
7月4日	0人	学校都合により中止



### 参加者の感想類型

- i) 大人と楽しく時間が過ごせる（話ができるなど）
- ii) 誰にも言えなかった悩みを相談できた
- iii) 大人から生き方や考え方などを学べた



### <今後、実施すること>

- 放課後を活用したキャリア探究
  - ・運営方法を整理して、生徒の関心を把握して学校外の経験につないでいく流れを確立する
  - ・大学入試広報予算を活用した収益モデルの試行
- 地域活動・企業活動への参加
  - ・活動の開始
  - ・学校から学校外に越境する際のスムーズな連携方法や仕組みを模索

■ WEBメディア「生き方百科」

- ・記事の作成
- ・学校で活用できる授業案の構築

③ これまでの成果・効果、今年度事業終了後の成果・効果の見込み

目標1：自分なりの「問い」をもつ高校生を増やす

評価指標・測定方法	数値目標		
	当初	今年度	実績
放課後キャリア探究の参加者数	延べ100人	延べ400人	延べ202人
<b>【評価指標】</b> 自分の「問い」に対して、当事者性やオリジナリティがある <b>【測定方法】</b> アンケート 探究学習などで取り扱われる「問い」に対して、当事者性やオリジナリティを問う	0%	80% ※分母は参加生徒	—

目標2：とにかくやってみる経験を通して、自分の好きや得意、関心をメタ認知できる高校生を増やす

評価指標・測定方法	数値目標		
	当初	今年度	実績
<b>【評価指標】</b> 「とにかくやってみる」行動に移せる <b>【測定方法】</b> アンケート	5人	延べ100人	—

目標3：地域に生きる魅力に触れる高校生を増やす

評価指標・測定方法	数値目標		
	当初	今年度	実績
<b>【評価指標】</b> 「岡山県あるいは地元で生きる人の魅力を感じることができた」の肯定的回答率 <b>【測定方法】</b> アンケート	約60% ※参考値「私は地域に愛着を感じている」の回答者	70% ※分母は参加生徒	—

④ 課題等

- ・学校から学校外に飛び出す際のスムーズな連携方法や仕組みの模索
- ・収益モデルの確立

#### 4 参考事項・資料

収支精算書見込又は収支（変更）予算書※

（収支（変更）予算書※は補助金交付申請書または補助事業変更承認申請書に添付した  
収支（変更）予算書のこと）

写真（データでも提出すること）

当日資料

アンケート結果 他

